



KAWASAKI Kazuo

Photo: 福永一夫 FUKUNAGA Kazuo

2009.7.1「Peace-Keeping Design」『開館5周年記念展 愛についての100の物語』金沢21世紀美術館

Kazuo Kawasaki Ph.D.

Peace-Keeping Design

Peace-Keeping Design

2009

大阪大学大学院 川崎和男先端デザイン研究室

Kazuo Kawasaki Progressive Inclusive Design Laboratory @ OSAKA UNIVERSITY

PKD(ピースキーピングデザイン)プロジェクトは、川崎和男が提唱するデザインによる平和維持活動である。これまでのデザイン手法の変革を目指す川崎は、自分自身の仕事において一人称、二人称、三人称のデザインを提唱している。人工心臓は自分自身・一人称、眼鏡はあなた・二人称、PKDプロジェクトを彼ら・三人称のデザインとし、それらを包括的=inclusiveな、すべての人々を幸福にする愛あるデザインであることを強調している。

注射器を扱ったことがない人でも安全に接種できるワクチンの開発など、紛争地域や災害時の救援医療現場にデザイン力を最大限に活用する手法、それら川崎が唱えるすべての人々に対するデザインの必要性が「愛」というテーマの本質とつながり、現代社会で求められるビジネスモデルの提案にも発展する。環境問題や世界平和について必要なものを根本から考え抜いたものが製造・運搬・保存・回収といったトータルなシステムを構築し、世界を変えていくことになる、それが川崎和男のPKDプロジェクトである。

(TY)

Photo: 池田ひらく IKEDA Hiraku



川崎和男

KAWASAKI Kazuo

1949年福井県生まれ、大阪府在住。

デザインディレクター、博士(医学)、大阪大学大学院・教授、名古屋市立大学大学院・名誉教授、多摩美術大学・客員教授、金沢工業大学・客員教授。デザインディレクターとして、伝統工芸品からメガネやコンピュータ、ロボット、原子力エネルギー、人工臓器、先端医療、海事戦略、宇宙空間の装置化などまで幅広く、研究、教育、実務活動を行う。国内外での受賞歴も多く、海外の主要美術館に永久収蔵多数。金沢21世紀美術館には「プラトンのオルゴール」が永久収蔵されている。

Born in Fukui Prefecture in 1949.

Design director, Doctor of medical science, Professor of graduate school of engineering, Osaka University, Emeritus Professor of Nagoya City University. Kawasaki's design knows no limit. He has designed cutleries, glasses, wheel chairs, computer hardware, CRT and LCD monitors, nuclear power systems, artificial organs and products in multi-dimensional space - among other things. His design works were awarded a lot of the prizes and selected for the permanent collections of the art museums in the world. 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa has PLATON'S ORGEL in its collection.

2009.7.1「Peace-Keeping Design」『開館5周年記念展 愛についての100の物語』金沢21世紀美術館

Kazuo Kawasaki Ph.D.